

マネジメント力向上セミナー

それ大丈夫？

気持ち(自分も相手も)に気づく ことから始めるパワハラ対策

講師: 今岡 まゆみ 氏 ハラスメント防止コンサルタント

本セミナーでは、ハラスメントについての基礎的知識を得るとともに、自らの感情や行動を振り返り、攻撃的にならない伝え方、お互いを尊重した関係づくりについて対話的に深めながら学びます。

日時

2019年1月30日(水)

13:00~17:00

講義13:00~15:00、実習15:10~17:00

★ 気づきとお互いの尊重

★ 攻撃的にならない伝え方

会場

高知大学朝倉キャンパス

総合研究棟2階会議室1

★ 「パワハラ」の基礎知識

★ 「もしものとき」の基礎知識

参加資格

教職員・大学院生・連携機関

(講義・実習 25名)

※講義だけの参加も歓迎します。

★ 職場の人間関係対処法

★ チームのパフォーマンス向上

高知大学男女共同参画推進室

お申込み
お問い合わせ

TEL 088-888-8022 (平日:9:00~17:15)

MAIL sankaku@kochi-u.ac.jp (安光、廣瀬)

DCセミナー、黒潮圏セミナー指定

世話人: 地域協働教育学部門 廣瀬淳一

本事業は、平成30年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の支援を受けて実施しています。

講師プロフィール

今岡まゆみ

三重県出身。航空会社に入社し、家族の介護を機に、約17年務めた会社を退職。家族介護が落ち着いた後、平成16年に社会保険労務士合格。その後、行政機関で相談員として約6年勤務。労働局ではいじめ・嫌がらせなどの理由から、個別労働紛争（トラブル）になった当事者の間で話し合いの場を設定、解決に向けての業務などに携わる。現在は研修、セミナー、ワークショップなどを中心に活動中。

講師からのメッセージ

パワーハラスメントは、「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」と言われています。

ハラスメントは、ついつい言い過ぎてしまう（攻撃的な）人と、言えない（受身的な）人との間で起こりがちです。しかし、言い過ぎる人は自覚できていない方が多いのも事実。相手の気持ちや意見は二の次、自分の意見を強く主張することで相手に不満や怒りが生まれ、人間関係がギクシャクし、「不適切な言動」が重なるとハラスメントといわれる可能性も大きくなります。何が適正な範囲を超えた「不適切な言動」に値するのか、理解ができていなければ、気づかないのはある意味当たり前です。

上司・部下、先生と生徒、先輩と後輩など役割を通しての言動が、過度になれば人としての権利を侵害してしまうこともあることに気づくことが大切なのです。とりわけ、管理職・リーダーは自分も含め、部下・後輩を守るためにも「知って」⇒「理解して」⇒「実践してみよう」⇒「適切な言動ができる」ようになることが大切です。

ハラスメントを予防するためには、自分の気持ちに気づき、攻撃的にならないように伝え、相手の気持ちや意見もきちんと受けとめる、つまりお互いを尊重するコミュニケーションが欠かせません。

今回のセミナーでは、自分の気持ちを大切にしたい攻撃的ではない表現と、相手（チームメンバー）も大切にするとはどういうことなのか、個人と組織を守るために必須の考え方とスキルを学びます。